

「BV 維持療法」について

この治療法は、卵巣癌においてTC+BV 療法に続いて行われる治療法です。BV はベバシズマブの略称です。

1. 投与方法

薬剤	効能または使用目的	投与時間
生理食塩液	点滴ルートの確保と洗浄	約90分
ベバシズマブ	抗がん剤	90分※

※ベバシズマブは2回目60分、3回目以降は30分で点滴することもあります。

2. スケジュール

BV 維持療法は21日サイクルで投与していきます。初日に抗がん剤を投与すると残りの20日間は「休薬期間」とい
い、体調の回復を待ちます。その後同様にして治療が進んでいきます。

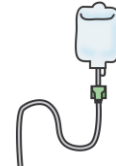
	1サイクル目		2サイクル目	
	1日目	2日目～21日目	1日目	2日目～21日目
投与日	○		○	
休薬日		○		○



●ベバシズマブ

作用: がん細胞への血管新生を抑制することで、酸素や栄養を届かなくする作用と、他の抗がん剤をがん細胞へ届き
やすくする作用があります。

注意事項: 点滴中に痛みや違和感があった場合はお知らせください。



4. 副作用

抗がん剤治療によって起こりうる主な副作用の種類、予防法、そしてそれが出現したときのひとまずの対応方法を
知ることが副作用対策の第一歩です。ここでは比較的高頻度に出現する副作用と頻度は少なくとも注意が必要な副
作用(有害作用)について掲載しました。

(ただし、頻度や強さには個人差があることをご理解の上で、参考にしていただきたいと思います。)

高血圧症

好発時期: 投与開始後4ヶ月以内の発症が多いようです。

対策: **自宅での定期的な血圧測定をお願いします。**

めまい、ふらつき、がまんできない頭痛と吐き気、けいれん、などの症状が出た場合はご連絡ください。

安静時にくり返しの測定をしても最大血圧が180mmHg または最小血圧が120mmHg を超える場合もご連絡く
ださい。

出血傾向

好発時期: 投与初期に多い傾向がありますが、治療期間を通して可能性があります。

対策: **粘膜からの出血が多いようです**(鼻血、歯ぐきなど)が、通常は軽く、自然にまたは圧迫することで止まります。
(もし、10～15分位しても止まらない場合はご連絡ください)

傷口が治りにくくなることがありますので怪我などには注意してください。

口から血を吐いたり、下血などが見られた場合は早めにご連絡ください。



タンパク尿

尿中にタンパク質が流出してくることがあります。流出量が多くなってくると腎機能に影響がでてくる可能性があります。

好発時期: ベバシズマブの治療が長くなってくると徐々に起こりやすくなってきます。

対策: 尿検査を行いタンパクの測定を行います。

間質性肺炎

間質性肺炎は、肺が炎症を起こし機能が低下する病気です。確率は低い(1%程度)ですが、放置すると重篤化する危険性があります。症状としては**息切れ、呼吸困難、空咳、発熱**などが起こります。また、この症状は肺に病気を持っている患者さんほど起きやすいことが分かっています。上記の症状が出た場合は自己判断せずに早めにご相談ください。

対策: **初期症状は風邪によく似ているため自己判断せずに早めにご相談ください。**



血管外漏出

抗がん剤を点滴しているときに血管の外に薬が漏れてしまう(漏出)ことがまれにあります。症状としては点滴部位の違和感、痛み、腫れ、などで場合によっては血管に沿って症状が出てくることもあります。もし、症状にお気づきになった場合は早めにスタッフにお声掛けください。

好発時期: 点滴している間が最も多く、まれに帰宅数日後に症状が出てくる可能性があります。

対策: 抗がん剤の種類によって対策が異なります。基本的には患部を温めたり、軟膏や注射による治療を行います。

※この他にも日常と違った症状がでた場合は病院までご連絡ください。

済生会宇都宮病院

代表:TEL 028-626-5500